

[洋室ドアの調整 (ドア上部がドア枠に当たったりこすれたりする場合)]

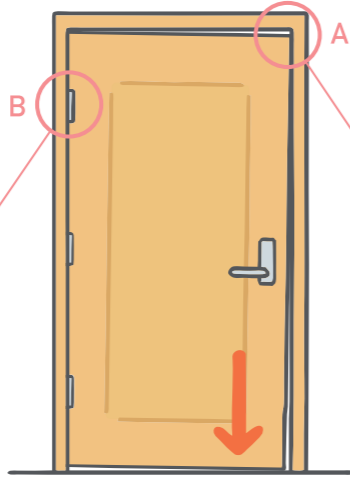
作業時間
約10分

● しっかり覚えておきたい、洋室ドア調整の基礎知識

① ドア枠に当たったり、こすれたりする原因
長期の使用やドア自体の重みでドアが傾くからです。

③ 調整箇所
ドアの傾きを直すにはイラストB部にある丁番を調整します。

左右固定ネジ
左右調整ネジ



② 傾きをチェック
イラストA部 (吊り元と逆の部分) のところに隙間が見えたらドアが傾いている証拠です。



① 「左右固定ネジ」をゆるめる。



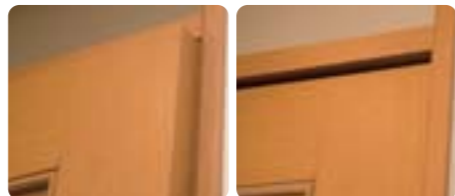
上下にある丁番のうち上の丁番を調整します。プラスドライバーで丁番にある3か所の「左右固定ネジ」をゆるめます。

② 「左右調整ネジ」を調整する。



2つある「左右調整ネジ」のうち最初に上のネジを調整します。プラスドライバーで少し右に回転させます。次に下のネジも同じように調整しドアの傾きを直します。
※「左右調整ネジ」は一度にたくさん回さないでください。回しすぎるとかえって調整が難しくなります。

③ ドアの閉まりをチェックする。



「左右固定ネジ」をしっかり締め付け、固定します。調整の都度ドアの閉まり具合を確認。ドアが当たったり、こすれたりしなくなるまで確認しながら①～③を繰り返します。

[ドアノブのゆるみの調整]

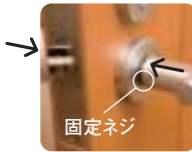
作業時間
約3分

① ゆるみの状態をチェックする。



ドアの取っ手がガタガタと動く時は調整を行いましょう。

② 「固定ネジ」をゆるめる。



「固定ネジ」をゆるめて、取っ手をドアの前後からしっかり差し込みます。

※頻繁にゆるむ場合は、ねじのゆるみ止めをホームセンターで購入し、使用してください。

③ 「固定ネジ」を締める。



ネジを締め、取っ手がガタガタなくなったら調整完了です。

[ドアを閉めた時にガタガタする場合]

作業時間
約3分

ガタガタする原因

ストライクの中にある受け金具がゆるみ、ラッチとの間に隙間ができるからです。



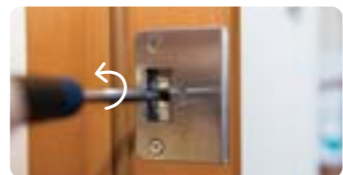
① ゆるみの状態をチェックする。



ドアを閉めた時に前後にガタガタするようなら、調整が必要です。

※建替時期によって調整できないものがあります。

② ストライクの中の金具の位置を調整する。



ストライクの中心部分にあるネジをプラスドライバーで回して調整します。ドアをびったりと閉めたい場合は、金具を左に動かします。ネジを右に回すと金具が左に動きます。

③ 調整完了。



ドアを閉めた時にガタガタしなくなれば、調整完了です。

引き戸・洋室ドアの調整

建て付けが悪くなったら、このポイントをチェック!

PROFILE トヨタホーム
[技術監修] アフターサービス担当 植月 英貴
DIYアドバイザー



一見難しそうに見える引き戸や洋室ドアの調整ですが、実は簡単な道具のみで手軽に行うことができます。それぞれの調整ネジの役割を把握して、正しい方法で調整しましょう。ドライバーを使う際にネジ山をつぶさないように、両手でしっかりとドライバーを持って作業するのがポイントです。
※調整部分が写真と異なる場合があります。オーナーズブックなどをあわせてご覧ください。

[用意するもの] プラスドライバー、マイナスドライバー、ちりとり、雑巾、ブラシ、シリコンスプレー (エーゼット)

[引き戸の調整 / ロックがかかりにくい場合]

作業時間
約10分

● まずは知っておきたい、引き戸調整の基礎知識

① ロックがかかりにくくなる原因

長期の使用や引き戸自体の重みで、引き戸が傾き、鎌錠がストライク (ドア枠側の受け金具) にかかりにくくなるからです。

[引き戸ロックの仕組みとは...]



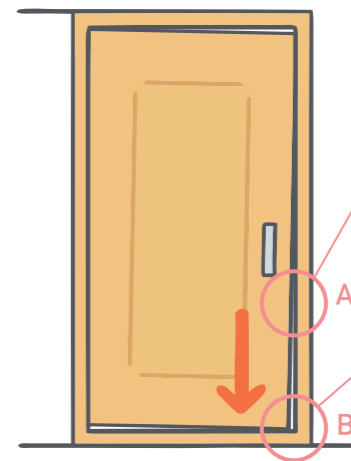
ドア本体のボタンがドア枠に当たると、鎌錠が下がります。



鎌錠がストライク (ドア枠側の受け金具) にかかるのでロックがかかります。

② 傾きをチェック

イラストA部のところに隙間が見えたら引き戸が傾いている証拠です。



③ 調整箇所

引き戸の傾きを直すにはイラストB部を調整します。



① キャップをはずす。



マイナスドライバーを使ってキャップをはずします。

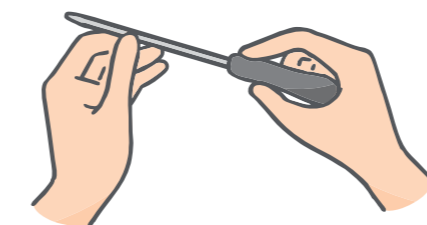
② 引き戸の高さを調整する。



プラスドライバーで「上下調整ネジ」を左に回し、引き戸の高さを上げます。少しずつ回すのがポイントです。その都度引き戸の閉まり具合を確認。ロックが「カチッ」とかかるようになるまで繰り返してください。
※「上下調整ネジ」は一度にたくさん回さないでください。回しすぎるとかえって調整が難しくなります。

[POINT] ドライバーの正しい持ち方

ねじ山をつぶしてしまわないように、ドライバーは両手で持ちましょう。力を入れてしっかり押さえてから回すのがポイントです。



[レールのすべりが悪くなった場合]

① ブラシでゴミを掃き出す。



レールにたまったゴミやホコリをブラシで掃き出し、掃除します。

② レールを拭く。



シリコンスプレーを雑巾に吹き付け、レールの溝をきれいに拭きます。ドアの反対側のレールも同じようにお手入れします。
※レールに直接吹き付けられないよう注意してください。
※シリコンスプレーが床にかからないよう注意してください。